

産肉能力に優れた県産種雄牛「安秀165」号

山形県農業研究研修センター畜産研究部

研究のねらい

優れた産肉能力を有する県産種雄牛の作出を行い、その精液を安定的に供給することによって、「総称 山形牛」のブランド確立と県内肉用牛経営の安定に資する。

研究の成果

山形県新庄市で受精卵移植によって生産され、農業研究研修センター畜産研究部で育成している県産種雄牛「安秀165」号の産肉能力検定間接法（検定種雄牛の去勢子牛8頭を約1年間肥育し、発育や肉質を調査してその種雄牛の能力を判定）を実施したところ、脂肪交雑の能力において全国トップクラスの成績であることが判明した。

県産種雄牛「安秀165」号
（生年月日）平成9年2月25日
（登録番号）黒原3641（82.0点）
（遺伝性疾患の有無）
B3-、F13-、CL16-
（血統）
父：安福165の9
母の父：紋次郎
母の母の父：安美金



間接検定の結果（H13.1.15～H14.1.14、364日間）

	平均値	全国平均
終了時月齢(ヵ月)	20.9	20.7
期間中DG(kg)	0.82	0.93
枝肉重量(kg)	348	357
ロース芯面積(cm ²)	48	48
バラの厚さ(cm)	6.6	6.4
皮下脂肪厚(cm)	2.0	2.0
歩留基準値	73.9	73.6
脂肪交雑(基準値)	3.3	2.6
備考	去勢子牛8頭	H12年度検定 終了の74セット

脂肪交雑 5（多い） （少ない）1

（ 問合せ先：畜産研究部 肉畜研究科 0233-23-8817 ）